

講演会のご案内

和田 剛 博士

医薬基盤研究所 霊長類医科学研究センター

感染症の制御メカニズムの解明 とワクチン開発

2012年11月26日 月曜日

16:00-17:00

和田 剛博士は、東京医科歯科大学大学院で、好塩基球欠損マウス (Mcpt8-DTR マウス) を樹立し、生体外寄生虫感染症と好塩基球の関係を明らかにしました (J Clin Invest 120, 2867, 2010; Annu Rev Immunol 29, 45, 2011)。現在は、医薬基盤研究所において、C型肝炎に対して、特異的免疫反応を誘導し長期にわたり治療効果が期待できる DNA ワクチンの開発を行っています。今回はこれらの感染症の制御メカニズムとワクチン開発についての講演をお願いしました。多数のご来聴をお待ちしております。

問合せ先 疾患プロテオゲノム研究センター病態プロテオゲノム分野
峯岸克行 (x9152, yminegishi@genome.tokushima-u.ac.jp)